

○事業所名	放課後デイGranny横浜都筑			
○保護者評価実施期間	2025年2月24日 ～ 2025年3月8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年2月24日 ～ 2025年3月8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一軒家、近隣に自然豊かな公園がある等、ロケーションを活かし、利用者が無理なく楽しめる環境がある。	・利用当日の体調、心的な状態を勘案し、活動の場を臨機応変に変更し、最適な利用状況となるように対応している。 ・できる限り散歩や外出の場を設定し、四季の変化を体感してもらっている。 ・外出の場では近隣の住民とのコミュニケーションを行い交流を図っている。	・指導訓練室における内装の充実 ・無理のない範囲で近隣の公園だけではなく、外出先のバリエーションを増やし、四季の変化等を体感できる機会をより多く設ける。
2	・利用者の多種多様な特性に応じた個別支援計画を策定し、的確な支援を行っている。	・ご家族や各専門職から利用者の特性および状況を詳細に把握し、療育センターおよび学校と情報連携を図りながら、個別支援計画や支援内容を決定し支援を実施している。	・利用者の状況について、職員間で情報共有、議論する機会を更に増やし、多角的な視点で個別支援計画の策定や支援を実施する。
3	・利用者の状況についてLINEや連絡帳等のツールを活用し詳細に伝達している。その中で家族からの悩み、心配事が顕在化した場合は解決に向け適宜、相談対応の場を設けている。	・当日の利用者の状況を見発管と管理者で情報共有のうえ振り返りを行い解決すべき課題があれば、解決策、支援内容の見直しを行い対応している。	・利用者の状況や課題について職員間で詳細に共有し、多角的な視点で利用者における課題設定、解決策の立案を実施する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・SNSを活用する等、情報発信が不十分である。	・実際の支援に重点を置いているため、SNSの更新などの時間がとりにくい。	・SNSに精通した職員の出勤日数を増やすことにより、定期的な情報発信や内容更新を実施する。
2	・利用者の特性上、感染リスクが高く、移動の範囲も限定されるため地域のお子さんとの交流の機会を設定することが難しい。	・感染リスクがあり特性上、移動の範囲が限定的となるため	・可能であれば、オンラインによる交流などの場を設定し、交流を図る。
3	・家族支援プログラムが少ない。	・利用者の特性が多種多様であり、対応することが難しい。	・家族とのコミュニケーションを更に図ることで課題を顕在化したうえで支援プログラムを策定し、できることから一步一步進めて行く。